

研修会名	『大人の発達障害のアセスメントと支援 ～臨床像の軽症化と複雑化がもたらすもの～』 申込者多数につき、追加募集します(タイムスケジュール、一部変更があります)		
企画委員会	保健医療分野委員会		
講師	糸井岳史先生(路地裏発達支援オフィス 代表)		
企画主旨	<p>いわゆる「大人の発達障害」が注目されるようになってから、約20年が経過しました。この間、発達障害概念が一般社会にも普及したこともあり、当初よりも多様な臨床像を呈するクライアントと出会うようになりました。従来から問題となっていた職場不応や、抑うつ症状等の併存障害をかかえる事例に加えて、「愛着トラウマ」等の複雑な障害を抱える事例も増えてきています。また自ら発達障害を疑う事例も増加し、医学的診断に届かない「グレーゾーン」と呼ばれる状態像の受診も増えており、アセスメントや心理療法に苦慮する事例が少なくないと思います。</p> <p>そこで、発達障害のアセスメント・支援に取り組まれていらっしゃる糸井岳史先生に、「臨床像の軽症化と複雑化」の観点から、大人の発達障害の「特性の理解」「特性に応じた支援」について、ご講義いただきます。</p> <p>新たな視点を得て、支援者としての姿勢・あり方についても各々が考える機会としたいと思います。</p>		
開催日	2021年2月11日(木・祝)	時間	開始:10:00 終了:16:00
対象者・定員	公認心理師その他心理職、 守秘義務のある専門職、 心理職を目指す大学院生	定員	200名
受講料	会員:5,000円 大学院生:3,000円 非会員:7,000円		

## 【プログラム】

午前の部①	テーマ	大人の発達障害:特性の理解
10:00~10:05	開会の挨拶・プログラム進行の説明	
10:05~12:05 (120分)	講義内容	大人の発達障害の特性を理解する上で必要となる理論について解説いただき、発達障害のよくある症状の背景にあるメカニズムと支援のポイントについて、お話しいただきます。
12:05~12:15 (10分)	質問受付	
12:15~13:15 (60分)	<昼休み>	
午後の部②	テーマ	大人の発達障害:特性に応じた支援
13:15~15:05 (110分)	講義内容	心理検査結果のフィードバックや、医学的診断の情報提供のあり方について解説いただき、自己理解を促す支援のあり方について、お話しいただきます。 加えて、愛着トラウマ等、複雑な症状を呈している事例に対する心理療法のあり方について、いくつかのご提案をしていただきます。 (講義の間に5分休憩:質問受付)
15:05~15:15 (10分)	質問受付	
15:15~15:25 (10分)	<休憩>	
15:25~15:55 (30分)	糸井先生の回答	
15:55~16:00	閉会の挨拶・アンケート記入	

注)本研修は日本公認心理師協会が今後認定を予定している『専門認定研修』システムにおける研修ポイントとする予定です。また、学校心理士、臨床発達心理士の研修ポイント、臨床心理士の参加者が3割以上の場合の臨床心理士研修ポイントをそれぞれ申請予定です。(公認心理師以外、対象となるのは一つの資格だけになります。)